

国際文化交流学部国際文化交流学科カリキュラムマップ

【設置の趣旨・必要性】
○我が国において、さらなる訪日外国人旅行者数の増加が見込まれる中、地域においても「観光振興」や「地域創生」の面からまちづくりを推進するため、地域資源を活かした交流拡大に取り組める人材を育成する。
○地域の外国人住民が増加し、人の価値観や生き方が多様化する中で、外国人住民も市民と同様にコミュニティの一員として活躍できるようなまちづくりが重要となっており、異文化を受容し、多文化共生社会の実現を担うリーダーとして、まちづくりに取り組むことのできる人材を育成する。
○地域経済を支える中小企業が、小松空港などのインフラを活かし、グローバル化に対応する中で、今後も高い経済成長を続ける中国や東南アジアに向けた海外展開を進めていくためにも、英語・中国語等の外国語運用能力と豊かなコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。

【養成する人材像】
南加賀地域における知の創造の拠点として、同地域の歴史や文化を踏まえながら、国際社会に対する知識と国際感覚を備え、力強い人間力と豊かな知性・感性をもって、地域社会の創生と我が国の持続的発展に貢献できるような人材を育成する。
○地域における海外からのインバウンド受け入れと多文化共生社会の実現に寄与する人材
○地域を基盤として国際貿易、国際協力等に尽力する人材
また、コースごとに次の養成する人材像を置く。
【国際観光・地域創生コース】
世界を俯瞰した観光学と農業を含む地域経済の実態に関する知識を身につけ、海外や地元での体験実習・社会実習などを通じて獲得した企画力と創造力を基礎として、国際的な視野から観光振興と地域創生に貢献できる人材。
【グローバルスタディーズコース】
世界各地の政治、経済、社会及び言語文化に関する知識を身につけ、演習や海外での体験実習などで獲得した異文化理解・受容能力と情報収集能力及び我が国のあり方に関する自立的な思考力、判断能力を基礎として、外国語運用能力を駆使しながら地域の国際化に貢献できる人材。

アドミッション・ポリシー
本学科の教育理念及び教育目標に共感し、国際的視野から地域貢献を目指すような学生を求める。

カリキュラム・ポリシー
ディプロマ・ポリシーに掲げる多様な人材を地域社会と企業に送り出すために、段階的履修を通じて一つの専門に偏らぬ学習ができるカリキュラム構成とする。コース分属後(2年後期～)、他コースから6単位以上を履修する。

①南加賀地域及び北陸の発展に強い意欲を有する人

①基礎力の形成
DP①②に対応
(1)1年次は、導入科目によって、本学科で学ぶ意義を理解し、一般教育科目によって幅広い素養を身につける。

②自国の文化に誇りを持ち、国際社会とその文化的多様性を探究することを通じて、国際交流と地域社会の発展に貢献したい人

(2)2年次は、国際社会と地域社会についての基礎知識と専門分野へのアプローチの方法を学ぶ。

③海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人

②外国語能力の形成
DP③に対応
1年次から3・4年次まで、英語、中国語を継続的、段階的に学習し、TOEICなどの検定試験によって到達段階を確認する。

④国際社会や地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人

③応用・実践力の形成
DP④に対応
3・4年次開講の演習、海外での語学研修、異文化体験実習及び国内での地域実習、インターシップ等を通じて、異文化対応能力や地域からの発信能力を身につける。また、卒業論文執筆のプロセスを通じて調査、プレゼン能力等の向上を図る。

⑤問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

④地域の国際化を射程に入れた地域活性化や町づくりのための仕組みについて、観光という視点から考え、理解を深める。

⑤中国・台湾、ASEAN地域から中東及び旧ソ連圏に至る国際政治、経済、社会などについて幅広く学ぶ。

⑥言語そのものの分析や、文化や社会との関わりを理解と言語による文化的創造について幅広く学ぶ。

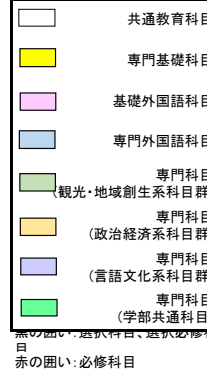


Table with 4 columns (1年, 2年, 3年, 4年) and 2 rows (前期, 後期) for each year. It lists various subjects like '自己形成と学ぶ意義を考える', 'キャリアデザイン・チーム論Ⅲ', 'アカデミック・スキルズ', '国際交流論', '国際政治論', '国際貿易論', 'アジア現代史概論', '中国語圏社会文化論', '英語圏言語文化論', '中国言語文化論', '英語圏芸文論', '観光学演習', '地域創生演習', '多文化共生社会演習', '国際政治論演習', '国際経済論演習', '国際社会論演習', '社会言語学演習', '日本語学演習', '英語学演習', 'インターシップⅠ・Ⅱ', '観光学演習A・B・C', '地域創生演習', '多文化共生社会演習', '国際政治論演習A・B', '国際経済論演習', '国際社会論演習', '社会言語学演習', '日本語学演習', '英語学演習', 'インターシップⅠ・Ⅱ', 'ホスピタリティマネジメント', 'マーケティング調査論', 'インバウンド観光論', '観光資源論', 'フードシステム論', '地理情報学概説', '財政学', '地域ブランディング論', 'バリアフリーツーリズム論', '観光人類学', 'グリーンツーリズム論', '社会調査法', '地域産業論', '農村地域振興論', '観光地理学', '観光人材育成論', '東南アジア地域社会論', 'イスラーム社会論', '資源エネルギー・環境論', 'メディア情報論', '中東政治論', '新興国経済論', 'サブカルチャー論', '現代メディア史', '日本古典読解', '社会言語学', '日本語の歴史', '英語研究A', '中国語研究B', '語用論', '比較文学論', '英語研究B', '中国語研究A', '日英対照言語表現論'. It also includes '卒業論文' in the 4th year.

ディプロマ・ポリシー
学科の養成する人材像に基づき、以下の項目にあげる学科共通の能力を修得するとともに、それぞれのコースごとに求められる能力を獲得した者に、学位(国際文化学)を授与する。

想定される進路・就職先

DP①地域貢献のための基礎力
南加賀地域の歴史と文化を理解し、地域経済と観光文化資源の活用に関する基礎的知識を習得している。

A 国際観光・地域創生コース

DP②グローバル人材としての素養
国際社会及びわが国の政治、経済、歴史、言語、文化等に関する豊かな知識と事象に対する洞察力を習得している。

地方公務員
国家公務員
旅行代理店
ホテル
流通業
航空会社
鉄道会社
レジャー・リゾート施設

DP③外国語能力
国際交流のための基礎となる外国語能力を学び、自己表現できる能力を習得している。

B グローバルスタディーズコース

DP④社会への成果還元力
学習成果を生かして、観光振興、地域創生、国際交流に求められる企画・情報収集・分析・問題解決の各レベルに関する能力を身につけるとともに、コミュニケーション力と情報発信力を習得している。

大手製造業
専門商社
総合商社
地方公務員
マスコミ
旅行代理店
ホテル

A 国際観光・地域創生コース
観光をめぐる国際的な展開を理解するとともに、地域経済の仕組みと企業、地方自治体等における地域創生のための取り組みを学び、調査活動をプレゼンし、情報発信できる能力を習得している。

B グローバルスタディーズコース
外国語能力の基礎の上に、アジアを中心とする世界各地の政治、経済の仕組みと歴史、言語、文化に関する知識を身につけ、国際交流のための調査・分析能力と論理的な自己表現能力を習得している。

コースごとのディプロマ・ポリシー A・B